

## 嶋野道弘先生のご退職にあたり感謝をこめて

石川 洋子

嶋野道弘先生は2016年3月をもって、文教大学を定年退職されることになりました。嶋野先生は、2003年に教育学部心理教育課程が発足した2年後の2005年4月から本年にいたるまで、11年間にわたって教育と研究と校務に尽力されてこられました。ここに厚く感謝を申し上げたいと思います。

嶋野先生は、埼玉大学教育学部を卒業後、埼玉県熊谷市の小学校教諭となられたのをかわきりに、埼玉大学教育学部附属小学校文部教官教諭、埼玉大学教育学部講師を経て、埼玉県教育局指導部主任指導主事、文部省初等中等教育局小学校課教科調査官、文部省初等中等教育局視学官、文部科学省初等中等教育局主任視学官等を経て、2005年4月に本学に赴任されました。また本学では、学生の教育指導に力を尽くされ、2013年4月から2016年3月までの4年間にわたり本学大学院教育学研究科長も歴任されました。

研究活動では、嶋野先生は、日本生活科教育学会（日本生活科・総合的学習教育学会に名称を変更）の創設に関われ、常任理事、会長を歴任され、長年、小学校生活科や総合的な学習の分野において、日本を代表するリーダーとしてご活躍されてこられました。著書も論文も多岐にわたり、本学に赴任後も数多くの講演をこなしておられます。学生の間では、心理教育課程で一番忙しい先生と有名です。

嶋野先生のお話を聞く機会がたくさんありましたが、子どもの言葉や行動、その子どもへの語りかけ、そしてその事例の示す意味や解釈、教師としての姿勢などをゆったりとした口調で、いつも学生たちに話していらっしゃいます。その言葉の一つ一つが心にしみわたり、教育現場での先生と子どもの姿全体を彷彿とさせます。そこには、いわば「嶋野ワールド」とでも言うべき世界があり、私たちもその場の雰囲気全体に浸って素敵さを味わってきました。学生たちも、教師のあり方そのものをまるごと、先生から教えていただいていたと思います。

私たち、教師と学生共々に、心から先生のご退職を残念に思っております。

ご退職後もぜひ引き続き私共に、その世界をお教えいただけたらと思います。

どうぞご健康に留意され、なお一層のご活躍をお祈り申し上げます。

(いしかわ ひろこ 文教大学教育学部心理教育課程長)